津山高校
第15号
# 県南クラブ
2009年8月5日発行
津山高校同窓会
岡山県南支部会報

# 支部総会を10月18日開催

## ぜひとも ご出席を！
## 津山の話で盛り上がりましょう

津山高校同窓会岡山県南支部の平成21年度総会・懇親会を10月18日（日）、岡山市中区浜の岡山プラザホテルで開催します。当日は正午から総会を開き、平成19、20年度の活動報告・決算案を審議していただき、任期満了に伴う役員の改選も予定しています。この後、懇親会に移り、津山からの学校、同窓会本部関係者の方々と一緒に、旧交を温めてもらえたらと思います。会費は男女とも9,000円です。

会を盛り上げるアトラクションは生バンドによる軽音楽演奏、同好会の活動発表などを計画しています。

２年に１回の支部総会です。ぜひご参加いただき、津山の話で大いに盛り上がりましょう。

出欠のご返事を同封のはがきで９月15日（火）までにご返送くださるようお願いいたします。

津山高女校歌斉唱

津山高校校歌斉唱

津山中学校歌斉唱

**平成21年度 県南支部総会・懇親会**

- 日 時　10月18日(日)正午～午後3時
- 場 所　岡山プラザホテル
  岡山市中区浜2-3-12
  ☎086-272-1201
- 会 費　9,000円

写真はいずれも19年度の総会・懇親会

随想

# 人材養成による技術立国を

支部長　草野　功

暑い日が続いておりますが、会員の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は同窓会活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年秋の米国サブプライムローンを引き金とする世界金融危機は資本主義の行き着いた米国主導の金融システムの崩壊である。それは、金融工学を主体に「モノを作らない経済」の限界を呈し、世界同時経済不況は多方面に深刻な状況を来した。自由経済主義の行き過ぎた姿であり、日本においては米国を見習った小泉内閣での財政改革が経済優先の行き過ぎによる社会秩序の破綻が、多方面に困難な問題を露呈した感がある。

我々の日常生活で最も大きな関心事は、生活に困らない収入（経済問題）、次に病気（健康問題）であり、家庭においては、次世代を担う、将来を見通した教育問題であろう。

平成18年、小泉内閣により決定された国の社会保障関係予算は、５年間に１兆１千億円の削減による基礎的収支の改善を目指し、年間2,200億円の予算削減措置がなされた。その後、大きく表在化した、医療機関の崩壊、医師の不足、介護保険関係者の低労賃による人材不足、終身雇用制度の崩壊、派遣切りの増加、自殺者の急増など、さらに、今年４月から新型インフルエンザの発生は世界的規模に広がり（パンデミック・フエーズ６）、一層、社会不安を引き起こしている。

議論されている平成22年度予算案では、これまでの反省に立ち、社会保障関連予算2,200億円の削減案が骨抜きにされたことは、税収不足とは言え、国民感情としても、また、医療関係者の一人として歓迎するものである。

さらに、自民・公明政権の不安定な状態は、政治改革、行政改革、構造改革の行方を一層不透明なものとし、日本の将来に暗い影を落としている。強いリーダーの登場が待たれる。

強い政治力により、産業界の活性化による財政の立て直しが喫緊の課題であり、麻生内閣も努力してきたところである。しかし、少子高齢化対策、医療・福祉・介護の分野では財政圧迫のみに力点が置かれ、それによる内需拡大策、国内消費や就業率アップを図ることが必要ではないかと考える。

資源のない日本で安心して暮らせるようになるためには、行き過ぎた資本主義経済に翻弄された、グローバルな金融立国ではなくて、戦後、地道に培われた世界的視野に立った技術立国しかないと思う。

そのためには、世界で活躍できる人材を育てる教育が最も大切である。母校、津山高校の一層の発展を心からお祈りする。

（くさの・いさお。元岡山市医師会長・福島内科医院理事長。昭和31年卒）

随想

# 似非（えせ）健康法伝道師

高島　征助

私は昭和37年３月に大阪府立大学・大学院工学研究科（応用化学専攻）修士課程を修了し、㈱クラレ（当時は株式会社・倉敷レイヨン）に入社、研究所に配属され、石油化学関連のテーマに従事していたが、昭和48年の「オイルショック」、翌49年の「ドルショック」を受けて、我が国の殆どの企業は大打撃、クラレも例外でなかった。

従来の繊維・高分子の企業体質を新分野へ転換しよう、それには来るべき高齢者社会への対応をするために医療分野への展開を図ろうというクラレの創立以来の方向転換がなされた。私は当時、質量分析装置（先年、島津製作所の田中耕一さんが、この装置を用いて従来解析が不可能であった分子量領域の測定を独創的手法で実証し、生化学、病理学等の分野への貢献度が絶大ということでノーベル化学賞を受賞）で一連の化学物質の崩壊過程を研究していたが、ある日突然上司から「お前のこれまでの研究を中止しろ。以後、血液関連成分の測定もあろうから、今から準備しておくように」とのお達し。

宮仕え？ の身では致し方なし。本社の営業部隊は臨床系の先生方に「我が社のこの機器をお使いいただき、是非学会でその研究成果をご発表ください。我が社の中央研究所にはそのような分析を行うプロがおりますので、先生のご発表のお手伝いが可能だと思います」と囁くのだから効果テキメン！ それらの先生方の中から「高島君に是非この問題を解決していただきたい。もしもうまく纏まるようであれば、高島君の医学博士号の取得のことも考慮しよう」というまたとない餌まで示された。

この世は本当に皮肉なもの。私が最も厭なものの代表的な「犬」、「血液」が研究対象になったが、それもどうにかクリアー出来た。その上、東京医科歯科大学・医学部、東京・東邦大学医学部・麻酔科の客員教授も拝命した。

特に東邦大学では昭和61年から平成16年まで10名の学位研究者を指導したが、師匠の故村山良介先生（朝日新聞社、村山美知社主の妹婿。昭和50年の夏、初めてお目にかかった時、先生は京大病院手術部主任・麻酔科助教授、後半は東邦大医学部教授）から、先生ご自身の直腸ガン患者としての心の葛藤を繰り返し講義された（尤も主たる講義の場は先生の巣というべき京都・木屋町のほの暗いバーの片隅、後半は浅草だった）。

先生がお亡くなりになる半年前の平成18年の６月下旬、先生は「高島、お前には大変苦労を掛けた。お前は臨床現場の学問的ニーズを充分理解してここまで深入りしてくれて本当に有り難う」とお礼を言われてうれしかった。さらに先生は「疲れたら寝なさい。その上、お前はお酒大好き人間だ。厭なことがあったら酒をカブ飲みして眠りなさい。運動については年中テニスをしているので問題なし。俺は家憲？ で歌舞音曲は駄目だが、お前さんは全てＯＫ。ただし、お前が大好きだと思っていることが最大のストレスかも知れないということを心に留めておけ。とにかくお前の得意な歌を朗々と歌うことだ。そして下らないことでも大笑いすることの効用を周囲の人たちに伝えて欲しい」ということだった。

今、私は「笑いと健康、そして生き甲斐」のテーマで講演行脚中だ。

（たかしま・せいすけ。岡山大学医学部客員教授。昭和31年卒）

随想

# ひょっとして、私たちは、あきら……

甲元　孝朋

人は、経験以上のことは語れないと言われる。それ以上はメルヘンの世界だ。人が新しい出会いと体験を求めて、旅にでる。納得できる話である。

ところで、今、喫緊の大問題に世界金融不安、テロ問題、環境問題、百年に一度と言われる景気大不況、身近なところで年金、医療、教育問題など何れも解決の急を要する重大課題と衆目の一致するところだろうが、どうも私独りの手には負えそうもない。別日の稿に委ねたい。

ともかく、最近の私事で申し訳ないが、私の経験を手初めに展開して、この稿の責を果たしたい。

4月1日、晴天の霹靂とも言えることが起こった。岡山商科大学の井尻学長から特任教授の拝命を頂戴した。大学は、ご案内の通り、その道の専門プロ達の集団である。まさに、知財の宝庫である。学問の世界、教育の世界とはまったく懸け離れた私に、学長は何を期待したのだろう。悩まなかったかと言えば、嘘になる。講義科目は、日本事情だ。学部担当者の弁によれば、特に教材、教科書はない。これまでの知識や経験に基づいて組み立てれば善い。本学の建学精神と、教育方針に沿って、君の自由にやって呉れたまえと、誠に有り難いお言葉を頂いた。諸手続きとセレモニーも無事に終え、遂にある決心と確信を胸に、2週間後には留学生を相手に教壇に立っていた。

はや4ケ月が経過している。今のところ、順調にいっていると自分では考えているが。とにかく、学長の学究者の立場と学園経営者の立場をしっかり読み切ったこと。今風に若者のメール言葉で言えば、さしずめＫＹの裏返しでしょうか。

ふたつ目は、留学生という枠組みを外したこと。基本的に私の考え方の一つに、地球上の若者という捉え方がある。たまたま中国の学生、韓国の学生、それぞれの国の学生そして日本の学生、たまたま日本人の私が教壇に立っている。つまり、国境、人種は全然問題にしてないことである。大切な事は、地球上のこれからの人類の未来を託せるのは、国境、人種を越えた彼ら若者達だということだ。したがって、誤解を恐れずいろいろな事を真正面から話している。彼らも共感してくれて、むしろお互いパートナーのような関係で、過去－現在－未来という流れの中で、我々は何を考え、何をしなければならないか、まったく屈託のない話を展開している。

三つ目は教科書となるような専門書、専門分野を持たない私自身を赤裸々に語ること。私の目、私の言葉、私の手を通して、日本事情、日本文化、世界事情いや人類の未来の幸せのために、やらなければならないこと、やってはならないことについて、難問、珍問を混ぜながらぶつけている。

つい最近、本学始まって以来の特別な（？）課外授業をやることになった。学生達との会話の中で得たヒントからである。日本文化を講義の座学だけでなく、見たり、触ったりしたいという願いである。限られた時間でやれることは絞られてくる。茶の湯を彼らに体験させようというものだ。お互いの文化の理解を深め、自国文化を堂々と主張できる場づくりである。

課外授業で茶道を初体験する岡山商科大学の留学生＝7月11日、犬養木堂記念館

幸い、犬養木堂記念館の木堂塾に本格的な茶室が準備できる段取りが進んだ。記念館の全面的なご協力とお茶席のお世話をしていただける地元ボランティアの方々のご厚意があってこそ実現したものだ。先人の遺徳を称え、土地の歴史と伝統を大切にするという、岡山の風土は、栄西茶会をはじめ数々の日本文化の発展に脈々と生きている。今回の課外授業の一番の味噌は、地域の文化財利用と地域住民の方々のご参加である。

企業経営の根幹のひとつに三方善という理念がある。まさに、当方（大学）と相手（学生）と社会（地域の方々）の三者がぴったりスクラムを組んだ理想的な教育舞台が整った。これこそ学長が進めている教育理念であり、大学が地域で生きて、生かされる戦略のひとつであろう。有用な人材育成の要とみた。

国際化、グローバル化といった大袈裟なものでない。地元に積極的に飛び込んで、地域の資源、地域の方々の参加を頂くという姿勢だ。地域で出来ることをひとつひとつ足元に積み重ねていく。決して特別なことではない。教育の原点のひとつに触れた思いだ。

今、私たち地方は、時代の陥穽にはまっている。決して、諦めてはならない。自分達の知恵と手足を使って小さなことでも、地方ならではのもの、この地域ならではのものに挑戦しなければならない。

最後に、わが同窓会のメンバーであり、小中高と机を並べたＮ君を紹介しよう。勿論、同窓会にはきっちり出席してくる。とにかく、彼は、よく出掛ける。小型バイクで、海岸、山奥へと県内外ところ構わず。必ずと言っていい程、現地の土産をもたらしてくれる。目の下ナン寸という生きた大鯛、ヒラメや、まだ活きているイカ、秋には山奥の木の実もある。私が喜びとしている最上のものは、現地の様子を鮮やかに語ってくれる彼の言葉だ。これも活きている。鯛やヒラメ以上に貴重な土産だ。とにかく、彼は少年の頃より好奇心旺盛な行動力の持ち主である。次回は、さざえを楽しみにしている。この紙面を借りてお礼を申し上げたい。

為念、本稿の正式タイトルは、「ひょっとして、私たちは、あきらめていない？」

（こうもと・たかとも。昭和34年卒。
岡山商科大学特任教授）

# 会員近況

## 「瀬戸内シネマ散歩」を出版した

### 鷹取　洋二 さん

「映画へのラブレターというだけでなく、地域への応援歌という気持ちも込めた」。初めての著作に手を触れながら、映画への熱い思いを語る。

岡山、広島、香川県で撮影された映画のロケ地を訪ねる「瀬戸内シネマ散歩」（吉備人出版）を今春、出版した。岡山で発行されている地域経済専門誌「週間Vision岡山」に昨年1月から今年3月末まで「シネマで散歩」を連載。この連載に加筆してまとめたのが今回の一冊だ。

「寅さんシリーズ」でロケ地となった津山市や高梁市、「秋津温泉」で知られる奥津温泉、「ALWAYS三丁目の夕日」の真庭市久世や岡山市東区西大寺、「東京物語」の尾道市などを訪ね、ロケに携わった地元の人々の思いなどを、「寅さんの後ろ姿が似合う町」「巨匠が選んだ風景」など5つの章に分けて展開している。

「ロケ地の人には良い思い出になっており、映画づくりに参加できたことを誇りに思っているのが感じられた」と振り返る。

映画は、子どもの頃から好きだった。今では美作市となった旧勝田町の出身。子どものころは「古い公民館みたいな所の土間に敷かれたむしろに座り、映画を見た」。なぜか、嵐寛寿郎主演の「明治天皇と日露大戦争」（昭和32年）が印象に残っている。林野や津山へ映画を見に出掛けたのも思い出だ。

津山高校に入ってからは下宿生活が始まる。下宿をこっそり抜け出しては映画へ。明宝が一番多かった。一番印象に残っているのはカーク・ダクラス主演「スパルタカス」（昭和35年）。初めて劇場用パンフレットを買った作品でもある。

「小さいときから人と話すのが苦手。引っ込み思案だったこともあり、映画に引き込まれた。画面と話をし、創造を膨らませ、主人公にもなれた」と映画の魅力を話す。

映画は主人公本位で選ぶ。中村錦之助の大ファンで、公開作品は全て見たという。「ミーハーなんです」と苦笑い。一番好きな作品は「関の彌太ッペ」（昭和38年、山下耕作監督）。椿の花をはさみ、錦之助と十朱幸代が会話をする名シーンが語り継がれる渡世ものの代表作の一つだ。

岡山大学時代も映画館に通い詰め、就職は映画会社を目指したが、大きなコネもなく、あえなく断念。開局直後の岡山放送（OHK）に入り、編成局長や営業局長、報道局長などを務めた。

鷹取さんが出版した「瀬戸内シネマ散歩」

編成局時代には、趣味の映画を生かした「ミッドナイトシアター」を毎週木曜日深夜に放送した。放映するのは岡山、香川県に縁のある作品で、今は亡き岡山映画資料館の松田完一館長らに出演してもらい、作品の解説コーナーも設けた。深夜番組とはいえ、力を入れた番組づくりに努めた。

同社顧問となってから手掛けたのが「シネマで散歩」＝「瀬戸内シネマ散歩」。掲載写真はカラーを使って見やすくし、映画ファンでなくても楽しくなるようなメモ書きが沢山あるうれしい内容だ。

取り上げた作品はDVD化されているものに限り、読者に「もう一度見てください」と呼び掛けている。「映画のシーンを思い出したり、DVDを見てみようという気持ちになってもらえたら」と語る。読んだ人から「もう一度みたくなった」という便りも届いている。

映画人になる夢は息子さんが松竹に入り果たした。現在は、車の免許を持たない主人のためにシネマで散歩の取材では運転手役を務めた道子夫人と、赤磐市の自宅からMOVIX倉敷（倉敷市）に出掛けることが多い。

最近の作品では、クリント・イーストウッドが主演・監督で、年老いた男の末路を見事に描いた「グラン・トリノ」に感動した。「イーストウッドが好きと言うより、尊敬する映画人」。

「岡山でロケされた作品は、横溝正史作品など、まだまだ沢山ある。来年あたりからパート2をやってみたい」と話す。

これからも、映画を友にした日々が続きそうだ。

（たかとり・ようじ。昭和39年卒）

## 気持ち込めた〝地域への応援歌〟

## 十六夜絵画クラブ

『十六夜絵画クラブ』は毎月１回、岡西公民館（岡山市北区下伊福西町）を主会場として例会を開いています。静物写生や日ごろのスケッチを持ち寄るなど画材も方法も自由です。時々は屋外スケッチ、展覧会鑑賞、美術館鑑賞旅行なども行います。

１番札所の霊山寺門前

昨年11月22～23日、１泊２日で徳島県鳴門の大塚国際美術館へ行きました。

１日目は、鳴門市近辺の四国霊場八十八カ所のうち１～３番札所霊山寺、極楽寺、金泉寺を車で巡礼しました。

２日目は、お目当ての大塚国際美術館鑑賞です。西洋名画1,000余点を精巧に原寸大で陶板複製し展示しています。

陶板ですから写真を撮ってもよし、触ってもよし、世界の名画を堪能しました。会場が広いので私たちは１日では全てを見ることはできませんでした。

絵を描くことは何時でも相手が居なくても誰にも迷惑をかけることなく、生涯の趣味としては最高です。

同好会先輩の親切丁寧な指導もしていただけます。初心者歓迎です。

（難波　哮）

■参加希望者は、筆保博文さんまで

（☎086－279－7262）

レオナルド・ダヴィンチの「最後の晩餐」

## カラオケ同好会

毎月１回（水曜日が多いです）、岡山市北区田町の「カラオケ エル・ノーツ」で例会を開いています。

お気軽にご参加ください。

■連絡先

皆木浩二さん（☎086－292－0626）

斎藤和子さん（☎086－262－3351）

## いざよい社交ダンスクラブ

社交ダンス発足３年になります。

月２回の定例練習会を岡山市北区表町の「ダンススタジオ　カリヨン」で続けております。

会員は今のところ６名ですが、カリヨンには男性女性の踊る人が20名くらいはおられまして、それぞれ曲が替わるごと相手も替わり、楽しんでおります。

個人レッスンも隣の部屋でしておりますので、初心者もそこで習えば、ステップも津山高校出身者でしたら、難なくマスター出来ます。

元気で人生を楽しくするため、一緒にダンスをしてみませんか。特に団塊世代の方々！

■連絡先

中野茂生さん（☎086－272－3032）

大塚利子さん（☎0863－51－2348）

## いざよいゴルフクラブ

岡山県内のゴルフ場で年４回程度、腕を競い合っています。

次の56回大会は９月10日（木）、岡山金陵カントリークラブ（岡山市北区石妻）での開催を予定しています。

■参加希望者は富岡謙二さん（☎086－277－7864）
または原田民子さん（☎086－262－8057）まで。

| 開催回 | 場所 | 優勝 | 2位 | 3位 |
|---|---|---|---|---|
| 第52回(08. 9.14) | 山陽ゴルフ倶楽部 | 阿井　道伸 | 原田　民子 | 大内　宏之 |
| 第53回(08.12. 2) | 岡山御津カントリークラブ | 阿井　道伸 | 垂井　尚志 | 小童谷昭治 |
| 第54回(09. 3.31) | 岡山ゴルフ倶楽部蓉江コース | 前原　桂 | 阿井　道伸 | 富岡　謙二 |
| 第55回(09. 6. 2) | 山陽ゴルフ倶楽部 | 難波　哮 | 渡邊　格 | 小林　一知 |

## 釣り同好会

年１、２回無理しないで釣行を楽しんでいます。昨年は小豆島へイイダコ釣りに出かけました。12月７日（日）にいつものメンバー、いつもの船頭さんで新岡山港から出港しました。

今回は他の魚種が期待できないということで移動しながら、半日イイダコ釣りに専念しました。放流サイズから真ダコに近い大きなサイズまで入れ食い状態でした。各人のクーラーも一杯でお土産もしっかり確保、外道にカレイまで掛かり嬉しい１日になり、充分に満足して帰港しました。

今年は秋に直島の釣り筏に出掛けて、真ダイをはじめ、五目釣りに挑戦します。希望の方からの連絡を待っています。

■連絡先　小森章二郎（☎086－270－2600）
中山　頼和（☎086－281－9066）

イイダコを手にニッコリの田村さん

## 歩こう会

平成８年４月に第１回を行いまして、ここしばらく途切れていましたが、５月19日に30回目として岡山県で一番空に近いと言われる「天空の湯」、鏡野町富西谷に行き、原生林の散策と標高700メートルでの温泉を楽しみました。

16名の参加で、距離があるのでマイクロバスをレンタルしました。

当日は歩くにはちょうど良い天候で、森林浴、入浴を堪能しました。

次回は秋頃の予定と思っております。

■連絡先　蜂谷弘紀さん（☎086－284－2583）
（電子メール：hachiya@chive.ocn.ne.jp）

# 平成20年度 鶴山会懇親会

岡山大学医学部医学科 3回生　小坂田 皓平

私は岡山県立津山高校の出身で、現在、岡山大学医学部医学科３回生の小坂田皓平です。昨年11月16日に津山高校出身者で岡山大学医学部にゆかりのある先生方の集まりである鶴山会の懇親会が行われました＝写真。このたびはその紹介をさせていただきます。

懇親会は毎年11月ごろに定期的に行っています。今年は10名もの先生方のご参加をいただきました。学生は私と、私の同級生の川本幸司の２人が参加させていただきました。懇親会は私たち学生の自己紹介、先生方の近況報告といった流れで行いました。

私たち学生にとって、この懇親会はとても貴重な交流の場です。学生からするとなんとなく遠い存在に感じる先生方も、ただ地元がおなじ、出身高校がおなじというだけでぐっと身近に感じます。特に岡山県南では県北の人は少ないのでなおさらです。きっと先生方も同じように感じて下さっていたと思います。実際、たくさんの先生方が話しかけてくださり、お話を聞かせていただいたし、逆に自分たちの話を聞いていただいたりもし、とても楽しい会でした。

現在、鶴山会に学生は３人しかいません。もっと増えてほしいです。そして、もっと多くの先生方にも懇親会にご参加いただきたいと思います。この鶴山会をもっと大きなものにして、より大きな繋がりを作っていきたいです。

私は津山が大好きです。春はきれいな桜が咲き、夏にはごんご祭りもある。秋は山の紅葉、冬は雪景色。そして津山に住む人たちは地元の人を大切にします。その津山で育った人はみんな仲間です。私は岡山に鶴山会があって本当によかったと思っています。

（おさかだ・こうへい。平成19年卒）

## おくやみ（お名前、卒業年、死亡年月日の順）

津崎　　進さん（昭和20年卒）平成20年４月11日
花坂　卓也さん（昭和21年卒）平成21年６月９日

心からお悔やみ申し上げます。

この欄はご遺族、同期生から情報をいただき、会報掲載のご了解を得られた方のお名前を紹介させていただいています。訃報の情報がございましたら、支部事務局までご連絡をお願いいたします。

## 藤原さん（昭和16年卒）からご寄付

津山高女昭和16年卒の藤原節子さん（岡山市北区舟橋町）からこのほど、県南支部に多額のご寄付を頂きました。支部財政は苦しいやりくりを続けているだけに、ご芳志は本当に有り難い話で有意義に使わせていただく予定です。

藤原さんは津山高女の同窓会に毎回参加されていましたが、最近は開かれなくなり、少し寂しい思いをされています。県南支部には会報を送ってもらうなど、お世話になっていることから、ご寄付を思いつかれたそうです。

地区の民生・児童委員を長く務められるなど、お元気にお過ごしです。

10月の支部総会・懇親会にも「参加できれば」と話されています。一昨年の会には15年卒の稲谷緑子さんにご参加いただき、会場が大いに盛り上がりました。津山高女卒業生の出席者が少なくなりつつありますので、ご参加を楽しみにしたいと思います。

## 渡邊氏（昭和32年卒）が叙勲受章

今年４月の「春の叙勲」で、昭和32年卒の渡邊格さん（岡山市北区今保）が瑞宝小綬章を受章されました。

渡邊さんは昭和35年岡山県庁に入り、企画と旧商工部以外は企業局を含め全ての分野を経験しました。特に、印象深いのは苫田ダムと民生労働部時代。「奥津という良く知った所に“県政100年の大計”としてダムを建設。多くの水没地権者にご苦労を強いた」。振興計画や補償基準づくりに追われたのが思い出です。民労部に勤めたのは施設福祉から在宅福祉へ移行し始めた頃。元気老人対策に力を入れ、予算はすべてつくなど、財政難の今からでは考えられない時代だったそうです。

退職後は津山商工会議所の専務理事を９年余り務め、今は通称「ゴロゴロ生活」。支部の同好会「いざよいゴルフクラブ」では会長を務められています。

県庁の後輩には「財政が厳しく、良いアイデアが日の目を見ないなど職員も歯がゆい思いをしているはず。しかし、モチベーションを下げて困るのは県民・市民。辛抱して歯を食いしばってほしい。『頑張れ』というエールを贈りたい」と励ましておられます。

### 会費納入のお願い

- 県南支部の活動は会費（年額1,000円）によって支えられています。
- 会費は会報「県南クラブ」の印刷・郵送費のほか、会員の相互親睦を図る活動に充てられます。
- 会費の納入は任意です。趣旨にご賛同いただける方は会報と一緒にお送りしております郵便振込用紙で、10月18日の支部総会・懇親会に出席される方は会場受付で納入をお願いいたします。

津山高校同窓会岡山県南支部会報「県南クラブ」第15号
2009年８月５日発行
発行人　草野　功　　編集人　片山淑雄
発行所　津山高校同窓会岡山県南支部
〒700-0816
岡山市北区富田町2-12-16 センチュリー富田町602号
ソーケン・プランニング内
TEL. 086-225-8607　FAX. 086-225-8600
E-mail　soken@mxt.mesh.ne.jp
URL　http://www1.harenet.ne.jp/~izayoi/

県南支部の最新情報は支部ホームページで。
アドレスは http://www1.harenet.ne.jp/~izayoi/
「岡山県南支部」で検索してください。

# 第15号 津山高校 県南クラブ

弁護士 **河原 太郎**
（昭和5年卒）
〒700-0811 岡山市北区番町1丁目8番28号
TEL(086)223-3789
FAX(086)222-2610

**田村皮膚科・泌尿器科医院**
医学博士 **田村 誠一郎**
（昭和19年卒）
〒700-0823 岡山市北区丸の内2丁目12番8号
TEL(086)222-4868 FAX(086)222-4860

内科、糖尿病科、消化器科、放射線科
医療法人 成和会
**粟井内科診療所**
理事長 **粟井弘二**（昭和22年卒）
〒700-0087 岡山市北区津島京町2-12-38
TEL(086)255-1330 FAX(086)255-2866

**岡本法律事務所**
弁護士 **岡本貴夫** 弁護士 **岡本 哲**
（昭和22年卒）
〒700-0811 岡山市北区番町2丁目3番2号 浦上ビル3階
TEL(086)225-5881㈹ FAX(086)225-5882

**万成病院**
**小林玉江**
（昭和23年卒）

＼もう一度"青春"を始めませんか!!／
**いざよい社交ダンス同好会** 会員募集中
練習日時：毎月第2金曜日、第4火曜日
13：30～16：30
場　所：表町商店街
「ソシアルダンススタジオ カリヨン」
連絡先：大塚利子（昭和33年卒）TEL(0863)51-2348
福田富男（昭和40年卒）E-mail：fkdt@mx1.tiki.ne.jp

学校法人 **就実学園**
監事 **有本 正**
（昭和25年卒）

**津山高校県南同窓会・絵画クラブ**
洋画家 **福島隆壽**
（昭和25年卒）
光風会理事・岡山支部代表、日展審査員、
岡山県展審査会員
〒710-0013 倉敷市中帯江833-48
TEL(086)425-9187

**中村法律事務所**
弁護士 **中村道男**
（昭和26年卒）
〒700-0816 岡山市北区富田町2-8-12
TEL(086)223-1751 FAX(086)226-1205

BAG JEWELRY WEAR
**sunami**
**小野温子**
（昭和28年卒）
表町本店 sunami ● TEL(086)231-2455
岡山駅2F Borsetta ● TEL(086)232-9309

**米戸金男**
（昭和29年卒）

医療法人(社団) **福島内科医院**
理事長 **草野 功**
（昭和31年卒）
〒700-0027 岡山市北区清心町3番18号
TEL(086)255-1281 FAX(086)255-1388

カイロプラクティック
**行成治療院**
院長 **松下行成**
〒711-0933 倉敷市児島通生890-7
TEL(086)474-6785
**黒明 東洋治**（昭和33年卒）

**いざよいゴルフクラブ**
**いざよい社交ダンスクラブ**
**齋藤和子**
（昭和33年卒）

**筆保博文**
（昭和34年卒）

いい場所・いい夢・いい時間
**全秦通商株式会社**
**山陽ゴルフ倶楽部**
代表取締役 **全本親民**
（昭和35年卒）
〒701-2433 赤磐市平山428
TEL(086)954-2211 FAX(086)954-2212

**岡山明光販売株式会社**
取締役社長 **野々上 紘**
（昭和35年卒）
〒703-8236 岡山市中区国富3丁目9番6号
TEL(086)273-5963 FAX(086)273-9685
E-mail：okameiko@po.harenet.ne.jp
http://www.meikoshokai.co.jp

人を敬い 人を愛する 人材派遣の
株式会社 **敬愛**
代表取締役 **華山和彦**
（昭和35年卒）
〒700-0904 岡山市北区柳町一丁目3番5号 金光ビル2F
TEL(086)231-1313 FAX(086)227-3010
URL：http://www.keiai21.com E-mail：hanayama@parlam.com

外科・胃腸科・整形外科・皮膚科・肛門科・理学診療科
医療法人　芳貴会
**江原外科胃腸科医院**
院　長　江原 芳男（昭和36年卒）
〒701-1342 岡山市北区加茂15-3
TEL(086)287-3300　FAX(086)287-3301
Eメール：yebara@okym.enjoy.ne.jp

Fruit culture
**蜂谷弘紀**
（昭和36年卒）
岡山市北区楢津1427
TEL・FAX(086)284-2583

新日本石油株式会社特約店
**大内石油株式会社**
代表取締役社長　大内宏之
（昭和37年卒）
本　社　岡山市北区御津金川　☎(0867)24-0844
牧沢きょう町営業所　☎(086)254-2030　西大寺松崎営業所　☎(086)943-1121
築港営業所　☎(086)264-2520　セルフ岡山御津S.S.　☎(0867)24-1181
二軒茶屋営業所　☎(086)294-2304　金川営業所　☎(0867)24-0069

大本組
株式会社 **大本組**
上原昭治（昭和37年卒）　森　繁昌（昭和48年卒）
辻　孝（昭和42年卒）　山本晃之（昭和54年卒）
本店・支店　〒700-8550 岡山市北区内山下一丁目1番13号
TEL(086)225-5131㈹　FAX(086)227-5145

**糖尿病**
ご不安をおもちの方のご来院を心よりお待ち申し上げております
糖尿病専門医　岡田奏二（昭和37年卒）
**岡田メディカルクリニック**
岡山市北区伊福町3-5-4
TEL 086-255-2345

藤井邦昭
（昭和38年卒）

**アクト設備株式会社**
代表取締役　保住 長男（昭和38年卒）
本　社／〒703-8221 岡山市中区長岡468番地1
TEL(086)279-7677　FAX(086)279-7887
津山出張所／〒708-0052 津山市田町119番地11
TEL(0868)22-8505　FAX(0868)22-8506
◆空気調和設備・販売・設計・施工・管理◆ビル設備総合メンテナンス
◆赤水、錆、スケールの除去と防錆装置・設計・施工
◆建設業許可岡山県知事 許可（般19）第15201号
管工事業・電気工事業・消防施設工事業

建設コンサルタント　計量証明事業登録
地質土質調査　環境調査　計画設計
KOA **興亜開発株式会社**
土壌汚染対策法指定調査機関
ISO9001 認証取得 本社・全支店
中国四国支店 技術部長
小童谷 昭治（昭和39年卒）
〒700-0975 岡山市北区今1丁目7番11号（西岡山セントラルビル）
TEL(086)245-0534　FAX(086)244-2502
URL：http://www.koa-kaihatsu.co.jp

**口分田歯科医院**
口分田　晃
（昭和41年卒）
〒700-0883 岡山市北区津島新野2-2-15
TEL(086)253-9023

THP：トータル ヘルス プロモーション
**和合整骨院**
院　長　三谷敏之
〒701-1145 岡山市北区横井上106-1
TEL(086)294-8080　FAX(086)294-8080
三谷 達子（昭和41年卒）

十六夜絵画クラブ
後藤正子
（昭和42年卒）

**なかやまクリニック**
循環器科・内科・外科　他
特定健診
中山頼和
（昭和42年卒）
〒701-0211 岡山市南区東畦112-38
TEL(086)282-4199

**岡山二人クリニック**
OKAYAMA COUPLES CLINIC
林　伸旨
（昭和42年卒）
〒701-1152 岡山市北区津高285番地
TEL(086)256-7717
FAX(086)256-7667

地域計画事務所　一級建築士事務所
株式会社 **ソーケン・プランニング**
代表取締役　黒瀬正義
（昭和46年卒）
〒700-0816 岡山市北区富田町2丁目12番16号
センチュリー富田町602
TEL(086)225-8607　FAX(086)225-8600

水と取り組む・実績と信用
上下水道用資材総合取扱店・上下水道設計施工
株式会社 **佐藤管材工業**
代表取締役　佐藤三平（昭和46年卒）
〒701-0165 岡山市北区大内田830-2
TEL(086)292-5311㈹　FAX(086)292-5188

有限会社 **システムフロンティア**
代表取締役　永禮一平
（昭和46年卒）
〒700-0942 岡山市南区豊成2丁目7番16号
TEL(086)264-0326　FAX(086)264-0326
E-mail：nagare@s-frontier.co.jp
URL：http://www.s-frontier.co.jp/

RSOL 株式会社 **両備システムソリューションズ**
代表取締役社長　小嶋光信
弊社は、従来のシステム開発を超えた新しい視点を持った企業です。私たちは、周辺サービス業務を含め、システム・ライフサイクル・マネージメントをトータルにご提供いたします。
本社　〒702-8006 岡山市中区藤崎564番の5
TEL 086-200-0700　FAX 086-200-0712
URL http://www.ryobi-sol.co.jp/
本　店（南区豊成）　東京支社　大阪支社

税理士法人 **石井会計**
代表社員 税理士
齊藤司幸（昭和61年卒）
〒700-0945 岡山市南区新保1107-2
TEL(086)201-1211　FAX(086)201-1215
URL：http://www.ishii-cpa.com
E-mail：ishiicpa@mx4.et.tiki.ne.jp


今号の発行に当たりましては、安東醇様（昭和28年卒）、竹本敷美子様（昭和29年卒）、治郎丸毅雄様（昭和34年卒）、片山淑雄様（昭和45年卒）からもご芳志を賜りました。ありがとうございました。

## 〝広告協力者〟を募集

今号から、「広告への協力はさせていただくが、名刺広告までは…」と言われる方を対象に、お名前だけの紹介にとどめさせていただく“協力者紹介”という制度を設けました。一口5,000円以上となっています。

次回16号でご協力が可能な方は支部事務局にお申し出くださるようお願いいたします。